

投資者の皆様へ

2016年9月12日



商号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

**日本株リスク・コントロール戦略ファンド(愛称:スマート・リターン)の  
 決算日(9月12日)における基準価額の下落要因について**

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。標題ファンドは2016年9月12日に決算を迎え、その他の費用への計上等を主因として、基準価額が下落いたしましたのでご報告申し上げます。

**1.基準価額及び下落率(9月12日)**

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
日本株リスク・コントロール戦略ファンド(愛称:スマート・リターン)	8,997	▲274	▲3.0%

**2.基準価額の主な変動要因**

- ①本ファンドは、運用上使用しているパークレイズ日本株エンハンスド・ベータ指数に対する使用料「年0.4% (税抜)」を委託会社の報酬より支払う一方、当該使用料は各計算期末における合計額が「300万円/税抜」に満たない場合には、その差額を「その他の費用」としてご負担いただくこととしております。本ファンドは9月12日に初回決算を迎え、当該その他の費用として「約2,453千円」をご負担いただくことが確定したことから、当該費用計上により約▲1.7%基準価額の下落要因となりました。
- ②日経平均株価指数が前日比1.7%下落する中で、当ファンドは株式の組入比率を概ね66.7%としていたため、当該株価指数の変動により、約▲1.2%基準価額が下落要因となりました。

弊社では、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後とも宜しくご報告申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## ファンドの費用

購入時手数料	購入申込金額に 2.16% (税抜:2.0%) を上限として販売会社が定めた料率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	かかりません。
運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの日々の純資産総額に年 1.4904% (税抜:年 1.38%) を乗じて得た金額とします。</p> <p>運用管理費用(信託報酬)の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期間の最初の 6 カ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。</p> <p>※ 委託会社の報酬より、パークレイズ日本株エンハンス・ベータ指数に対する使用料「年 0.4% (税抜)」が支払われます。なお、当該使用料の各計算期末における合計額が「300 万円(税抜)」に満たない場合は、その差額を下記「その他の費用」としてご負担いただきます。</p>
その他の費用 及び手数料	<p>ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。</p>
その他	<p>※ 上記費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に 応じて異なりますので、表示することができません。</p>

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## ファンドにかかるリスクについて

### 【基準価額の変動要因】

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

#### <主な変動要因>

##### 株価変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が下落した場合には、その影響を受け、本ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

##### 流動性リスク

株式等を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。特に流動性の低い株式等を売却する場合には、その影響を受け、本ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

##### 本ファンドが採用するリスク・コントロール戦略にかかわるリスク

本ファンドが採用するリスク・コントロール戦略は、株価変動リスクの低減を確実に保証するものではありません。当該戦略は、過去の実績値に基づいて、将来を予測していることから、相場動向により収益率が異なります。一般的に下記事象が生じた場合には、運用成績が市場より劣化する確率が高くなります。なお、市場より劣化するケースは下記に限定されません。

- 1) 日経平均株価が下落ないし横ばいに終始した場合
- 2) 日経平均株価と日経平均ボラティリティー・インデックスの逆相関性が長期的に失われた場合
- 3) 日経平均株価及び日経平均ボラティリティー・インデックスの価格トレンドが、戦略で使用する価格トレンド変更判断期間と同等の期間で反転を繰り返すような局面（組入比率を上昇させると株価が下落し、組入比率を低下させると株価が上昇する局面）
- 4) キャッシュ化ルールに基づき、株式の組入比率をゼロにしたにもかかわらず日経平均株価が続落せず、反転上昇したような場合

##### 信用リスク

投資した企業や取引先等の経営・財務状況の悪化、または悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には、その影響を受け、本ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

##### 金利変動リスク

公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、その影響により本ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

#### 《投資信託ご購入の注意》

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。